

食材の**残留農薬分析情報** H26-第4号

8 月度・残留農薬分析定期検査の結果(ご報告)

8 月は、現地を訪問させていただいた千葉県の「旭愛農生産組合」様、「うなかみグリーンパーティ」様をはじめとして、商品本部及び地方店舗の取り扱いの全ての青果物等の中から、総合科学新潟研究所が 26 点を指定(品目・産地)して農薬の残留分析を行いました。

★ 分析の結果、26 点全ての食材で、残留農薬が一切検出されませんでした。

この結果から、全て安全な食材であることをご報告致します。

〔説明〕

庄やグループの店舗で使用する野菜等の食材に対し、商品本部取り扱いや地方店舗での使用も含めた全てを対象にして、自社の研究所で抽出調査による残留農薬分析を行っています。

1 8 月の定期調査では、26 品目全てにおいて、農薬の残留が一切ありませんでした。

日頃から農薬使用を低減して安全性の追求にご努力をいただいている契約生産者グループ等の皆様に、感謝申し上げます。

皆様のご努力により、庄やグループの食材の高い安全性が確保されています。

2 また、ポストハーベストの面で農薬残留が懸念される輸入果物のライム、オレンジでも、今月は農薬残留がありませんでした。

庄やグループのお店で、安心して飲食を楽しんでいただきたいと思います。

<参考>

① 調査対象食材(検体)の抽出方法

大庄基準で定めた抽出方法(大庄ホームページに掲載)で、庄やグループの店舗への全ての流通(納品)を対象に抽出調査を行っています。

② 残留農薬の分析方法

GC/MS(ガスクロマトグラフ質量分析計)を用いた、一斉分析法。

③ 分析対象農薬

230 成分(殺菌剤 58,殺虫剤 98,除草剤 68,植物成長調整剤 4,薬害軽減剤 2)

④ 庄やグループでは生産者の皆様との連携を深め、可能な限り無農薬や農薬使用を減らしていただき、残留農薬の無い食材を確保するように努めてまいります。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。

分析データ 食材の残留農薬分析結果 (平成 26 年 8 月度)

分析 株式会社大庄総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地	生産者	検出農薬	分析値 (ppm)	大庄 基準値 (ppm)	国内 基準値 (ppm)
1	グリーンカール	長野	JA 長野八ヶ岳川上支所				
2	にんじん	青森	三沢有機出荷組合				
3	ミニトマト	北海道	JA ふらの				
4	トマト	千葉	旭愛農生産組合				
5	なす	栃木	901				
6	こねぎ	千葉	うなかみグリーンパーティ				
7	サニーレタス	長野	JA 長野八ヶ岳川上支所				
8	ライム	メキシコ	西本貿易				
9	キウイフルーツ	NZ	624				
10	なめこ	新潟	西村農園				
11	れんこん	千葉	(有)坂農場				
12	ニガウリ	沖縄	JA おきなわ				
13	ふるねしょうが	高知	JA コスモス				
14	ミョウガ	高知	JA 土佐くろしお				
15	えだまめ	新潟	大潟ナショナルカンツリー				
16	えだまめ	新潟	ナカムラ農産(株)				
17	こねぎ	愛知	JA なごや				
18	みずな	茨城	JA ほこた				
19	しいたけ	群馬	902				
20	なす	福島	JA みちのく安達				
21	トレビス	アメリカ	544				
22	レタス	長野	JA 長野八ヶ岳川上支所				
23	グリーンカール	長野	JA 全農長野				
24	オレンジ	アメリカ	434				
25	エリンギ	新潟	ホクト(株)				
26	大葉	高知	JA 南国市				

注) ① 生産者名の一部は、都合により生産者番号を記載しております。

② ppm : パーツ・パー・ミリオン(parts per million)の略で、1ppm は、青果物 1kg 当たりに 1mg の農薬が含まれることを示します。